

観光問題

Q 観光局の経営内容と今後の方針は

A 観光振興の中心的な役割を果たす



太谷 正治 議員

Q

今後の観光行政について、次の点をうかがいます。

- ① 観光局への年間投資資金。
- ② 観光局の今後の経営方針と、今後の村とのかわり。
- ③ 観光国際課の統廃合について。
- ④ 観光局に入会しない施設の対応。
- ⑤ 宣伝方法の主流。
- ⑥ 旅行免許取得による取り組み。
- ⑦ 今後の方向。

A

① 投資資金は2000万円支出しており、旅行業に関する供託金1000万円、出資金900万円



ジャンプ台南側 観光局

円です。尚、主資金は村が2分の1負担することとなり立替金450万円は本年度中に返却されます。

運営資金、イベント資金については6755万円、内訳としては、観光局負担金5955万円、オリンピック記念館管理業務費50万円、白馬アルプス花三昧500万円、クリスマスイベント250万円であり、村の観光局に占める割合は55.3%であり、人件費については、それぞれの派遣元で負担していたでています。

② 白馬村の観光振興を図るため、短期・中長期の計画を立てて「観光振興の中心的な役割を果たす」事業推進を図っております。

③ 観光開発・観光計画・商業及び工業、そして国際交流に誘客宣伝といった事務事業を行っており、ポリシーも考慮しながら統合が出来るかどうかを只今検討中であります。観光という名前は、いずれかの業務の中に残していくことで考えています。

④ 現在観光局会員717会

員であり、今後も入会推進を行う。村の資金利用については、不公平はないと考えます。

⑤ インターネットを活用されるケースが多くなっており、他にパンフレット等色々な媒体を使用して情報発信をしています。

⑥ 第2種旅行業務免許を取得。宿泊料金と組み合わせ商品を各施設単位で作成し、販売することも可能となっています。ツアー商品については、各旅行会社へも卸しを行い、今後も誘客に努めていきますが、会員の皆様の活用もお願いしたいと思います。

⑦ 村・会員・利益それぞれ3分の1となる様運営をもっていけば、会員の意欲を反映された観光局となります。官民協力して白馬村にお客様が多く訪れていただく様努めていきたい。イベント等の効果及び検証は、検証しにくいのが実状であり、マイスター制度のような自前のイベントを組み立て白馬ならではの商品を作成販売していきたいと考えています。